2019授業科目〈シラバス〉

Okinawa Prefectural University of Arts Syllabus

沖縄県立芸術大学

美術工芸学部

授業科目〈シラバス〉について

この「2019授業科目〈シラバス〉」は、平成31年度に美術工芸学部で開講される専門教育科目について、各担当教員から提出された授業計画(シラバス)をまとめたものです。 履修計画や年間の学習計画を立てる際に利用してください。

なお、総合教育科目、共通教育科目及び教職に関する科目は別冊となっています。

- 1. 実技の授業科目は、その多くが複数の実習 (課題) で構成されています。この場合、授業科目の頁のあとに実習 (課題) ごとのシラバスが記載されていることがあります。
- 2. 今年度開講する科目のみを掲載しています。
- 3. 集中講義科目については、単位数・学期欄に(集中)と表記されています。
- 4. 担当教員名欄の(名)は名誉教授を、(客)は客員教授を、(非)は非常勤講師を表します。
- 5. ■履修上の留意点には、履修の条件や注意事項のほかに、授業外の学習を含めて履修 にあたり心掛けるべき点、学生への要望等が記載されています。
- 6. その他、本学の授業科目には科目名の末尾に番号等が付されているものがあります。 これらは、科目開設の趣旨や性格、また分類上のルールがありますので、入学時に配 布された履修案内等を確認してください。

平成31年度 美術工芸学部開設授業科目表一覧(平成30年度以降入学生用)

1 140		7413—1			(1 140 -		**************************************	
対象	科目	科目	授業科目名	単位数	受講	学期	授業	頁
専攻	区分	コード	1文 末 竹日七	辛四奴	年次	一州	区分	只
		21110	絵画基礎	5	1	前	実技	1
		21112	日本画 I	6	1	後	実技	7
		21113	箔	2	1	後	演習	12
		21213	日本画Ⅱ-Ⅰ	6	2	前	実技	13
		21214	日本画Ⅱ-Ⅱ	7	2	後	実技	15
	必修主要	21121	 油画 I	7	1	後	実技	21
絵	70 17	21223	····································	6	2	前	実技	25
絵画		21224	油画Ⅱ-Ⅱ	7	2	後	実技	29
_		21231	絵画特論 I	2	1	通年	講義	42
		21331	絵画特論Ⅱ	2	2	通年	講義	43
		21291	古美術研究	4	2	後期	演習	44
		21132	彫刻(絵)	2	1	前		45
	必修専攻	21133	デザイン(絵)	2	1	前	演習	46
	専門関連	21209	工芸(絵)	2	2	前	演習	47
		22110	<u>エム (MA)</u> デッサン	1	1	前		48
		22113	彫刻I-I	5	1	前	実技	49
		22113	彫刻Ⅰ-Ⅱ	7	1	後	実技	53
		22213	彫刻Ⅱ-Ⅱ		2	前	実技	56
	必修主要	22213	彫刻Ⅱ-Ⅱ	6	2	後	実技	59
		22214		6 1	2			
彫			構成	=		後	実技	62
彫 刻		22231	彫刻特論 I	2	2	通年	講義	69
		22291	古美術研究	4	2	後	演習	71
	必修専攻	22121	絵画(彫)	2	1	前	演習	72
	専門関連	22209	デザイン (彫)	2	2	前	演習	73
	V2240	22132	美術解剖学 I (骨)	2	1~4	前	講義	75
	選択専攻 専門関連	22133	美術解剖学 Ⅱ (筋)	2	1~4	前	講義	休講
		23110	素描(芸)	2	1	前	演習	76
		23114	実技研究 (絵画)	3	1	後	実技	78
	必修主要	23115	実技研究(表現)	2	1	後	実技	81
		23113	基礎演習	2	1	後	演習	84
		23217	学外研究	4	2	後	演習	85
		23151	絵画(芸)	2	1	前	演習	87
	必修専攻	23152	彫刻(芸)	2	1	前	演習	88
	専門関連	23153	デザイン (芸)	2	1	前	演習	89
		23154	工芸(芸)	2	1	前	演習	90
		23431		4	2~4			100
		23432	語学演習B(独語)	4	$2\sim4$	通年	演習	102
		23433	語学演習C(仏語)	4	$2\sim4$	通年	演習	102
		23433	語学演習D(伊語)	4	$2\sim4$	通年	演習	103
		23434	高子演旨し(デ品) 原典研究A(古文書)	4	$2 \sim 4$	通年		104
芸		23435					演習	
芸 術 学	\22+□- > ==		原典研究 B (漢文)	4	$2\sim4$	通年	演習	休講
学	選択主要	23437	原典研究C(ラテン語)	4	$2\sim4$	通年	演習	106
		23438	美学特講	2	$2\sim4$	前	講義	107
		23439	芸術学特講	2	$2\sim4$	後	講義	108
		23440	東洋美術史特講	2	$2\sim4$	前	講義	109
		23228	日本美術史特講	2	$2\sim4$	後	講義	110
		23441	西洋美術史特講	2	$2\sim4$	前	講義	111
_		23227	比較芸術学特講	2	2~4	後	講義	112
		23330	絵画演習 A	2	$2\sim3$	前	演習	281
		23331	絵画演習 B	2	$2\sim3$	後	演習	282
		23261	彫刻演習A	2	$2\sim3$	前	演習	284
	選択専攻	23262	彫刻演習 B	2	$2\sim3$	後	演習	285
	専門関連	23334	デザイン演習A	2	$2\sim3$	前	演習	287
		23335	デザイン演習B	2	$2\sim3$	後	演習	288
		23336	工芸演習A	2	$2\sim3$	前	演習	290
		23337	工芸演習B	2	$2 \sim 3$	後	演習	291
			エム/ベロロ			i×	次日	

平成31年度 美術工芸学部開設授業科目表一覧(平成30年度以降入学生用)

				,		- 12-0		
対象 専攻	科目 区分	科目 コード	授業科目名	単位数	受講 年次	学期	授業 区分	頁
		24112	デザイン I	3	1	前	実技	113
		24113	木工芸基礎	2	1	後	演習	116
		24114	立体造形(デ)	2	1	後	演習	117
	2/kr-==	24115	素描(デ)	1	1	後	実技	118
	必修主要	24116	色彩構成	2	1	後	演習	119
		24117	空間構成	2	1	後	演習	120
		24223	デザインⅡ-Ⅰ	7	2	前	実技	121
		24224	デザインⅡ-Ⅱ	7	2	後	実技	127
		24121	絵画(デ)	2	 1	 前	演習	147
デザ	必修専攻	24123	彫刻(デ)	2	1	前	演習	148
ザ	専門関連	24124	工芸(デ)	2	1	前	演習	149
イン		24132		2	1~4	前	講義	308
		24133	日本建築史	2	1~4	後	講義	309
		24153	クラフトデザイン計画	2	1~4	後	講義	310
		24161	プロダクトデザイン論	2	1~4	後	講義	311
	\22+D==+/-	24161	ブロメフトアリイン論 ビジュアルデザイン論	2	1~4	前	講義	312
	選択専攻 専門関連			2				
	号	24171	視覚伝達論A		1~4	前 ※	演習	313
		24172	視覚伝達論B	2	1~4	後	演習	314
		24181	環境造形論	2	1~4	前	講義	315
		24184	人間工学	2	1~4	後	講義	327
		24251	図学	2	1~4	前	演習	316
		25112	描写	1	1	前	実技	150
		25113	色彩	1	1	前	実技	151
		25114	立体構成	1	1	前	実技	152
		25101	工芸 I	7	1	後	実技	153
		25209	工芸Ⅱ	5	2	前	実技	158
		25261	立体造形(工)	1	2	前	実技	164
		25262	版画	1	2	前	実技	165
	必修主要	25221	染 I	7	2	後	実技	167
		25231	織 I	7	2	後	実技	185
		25232	繊維科学	2	2	後	講義	206
		25222	染色化学	2	2	後	講義	207
工		25211	陶芸 I	7	2	後	実技	209
芸		25212	窯業化学	2	2	後	講義	226
		25241	漆芸 I	7	2	後	実技	228
	必修専攻 専門関連	25242	漆芸科学	2	2	後	講義	249
		25102	絵画(工)	2	1	前	演習	251
		25103	彫刻(工)	2	1	前	演習	252
		25104	デザイン(工)	2	1	前	演習	253
		25131	 陶磁史	2	1~4	 前	講義	318
		25131	染織工芸史	2	1~4	前	講義	319
	選択専攻	25152	生活造形論	2	1~4	後	講義	320
	进扒导以 専門関連	25151	装飾論	2	1~4	後	講義	321
		25171	表即論 漆芸論	2	1~4	後	講義	321
				2				
		25177	色彩論		1~4	前	講義	326

平成31年度 美術工芸学部開設授業科目表一覧(平成30年度以降入学生用)

- 110		71115———						
対象 専攻	科目 区分	科目 コード	授業科目名	単位数	受講 年次	学期	授業 区分	頁
		22132	美術解剖学 I (骨)	2	$1\sim4$	前	講義	75
		22133	美術解剖学Ⅱ(筋)	2	$1 \sim 4$	前	講義	休講
		22202	金属演習	2	$2\sim4$	後	演習	292
		23125	芸術心理学	2	$1\sim4$	後	講義	293
		23126	芸術学	2	$1\sim4$	前	講義	294
		23135	彫刻史	2	$1\sim4$	前	講義	休講
		23136	デザイン史	2	$1\sim4$	前	講義	295
		23137	工芸史	2	1~4	前	講義	296
		23138	絵画史	2	1~4	後	講義	297
		23141	書道史	2	$1\sim4$	前	講義	298
		23142	現代芸術論A	2	1~4	後	講義	299
~		23143	現代芸術論 B	2	1~4	前	講義	300
全専攻対象		23145	一般芸術学	2	1~4	後	講義	301
뀿		23146	日本美術史	2	$1\sim4$	前	講義	302
対		23147	東洋美術史	2	1~4	前	講義	303
		23148	西洋美術史A	2	$1\sim4$	前	講義	304
$\widehat{}$		23149	西洋美術史 B	2	$1\sim4$	後	講義	305
部	選択共通	24132	西洋建築史	2	$1\sim4$	前	講義	308
専	専門関連	24133	日本建築史	2	1~4	後	講義	309
以 除		24153	クラフトデザイン計画	2	$1\sim4$	後	講義	310
< \		24161	プロダクトデザイン論	2	1~4	後	講義	311
部専攻除く科目あり)		24162	ビジュアルデザイン論	2	$1\sim4$	前	講義	312
員		24163	図法及び製図A	2	$1\sim4$	前	演習	330
න 11		24164	図法及び製図 B	2	$1\sim4$	後	演習	331
٤		24171	視覚伝達論A	2	$1\sim4$	前	演習	313
		24172	視覚伝達論 B	2	1~4	後	演習	314
		24181	環境造形論	2	1~4	前	講義	315
		24184	人間工学	2	$1\sim4$	後	講義	327
		24251	図学	2	$1\sim4$	前	演習	316
		24252	CG基礎	2	$2\sim4$	後	演習	317
		25131	陶磁史	2	1~4	前	講義	318
		25132	染織工芸史	2	1~4	前	講義	319
		25151	生活造形論	2	1~4	後	講義	320
		25152	装飾論	2	1~4	後	講義	321
		25171	漆芸論	2	1~4	後	講義	322
		25177	色彩論	2	1~4	前	講義	326
		21202		2	1~4	 後	演習	335
自由	科目	24202	スクリーン印刷演習	2	2~4	後	演習	336

平成 31 年度 美術工芸学部開設授業科目表一覧(平成 29 年度入学生用)

対象 専攻	科目 区分	科目 コード	授業科目名	単位数	受講 年次	学期	授業 区分	頁
		21311	日本画Ⅲ	14	3		実技	18
	>//-> 	21321	油画Ⅲ	14	3	通年	実技	32
	必修主要	21331	絵画特論Ⅱ	2	2	通年	講義	43
		21291	古美術研究	4	2	後	演習	44
		21431	西洋建築史概説A	2	1~4	<u>~</u> 前	講義	255
		21432	日本建築史概説A	2	1~4	後	講義	256
% ≏		21433	ビジュアルデザイン概論	2	1~4	前	講義	257
絵画		21434	視覚伝達概論A	2	1~4	前	演習	258
	選択専攻	21435	視覚伝達概論B	2	1~4	後	演習	259
	専門関連	21436	陶磁史概説A	2	1~4	前	講義	260
	131 31/3/	21437	染織工芸史概説A	2	1~4	前	講義	261
		21438	生活造形概論A	2	1~4	後	講義	262
		21439	装飾概論A	2	1~4	後	講義	263
		21440	漆芸概論A	2	1~4	後	講義	264
		22112	彫刻 I B		1		実技	
		22212	彫刻Ⅱ	13	2	通年	実技	_
		22312	彫刻Ⅲ	13	3	通年	実技	63
	必修主要	22231	彫刻特論 I	2	2	通年	講義	69
		22331	彫刻特論Ⅱ	2	3	通年	講義	70
		22291	古美術研究	4	2	後	演習	71
	専攻専門	22207	デザインB	2	2	 前		
	関連	22208	工芸B	2	3	前	演習	74
	177.2	22132		2	1~4	前	講義	75
图》		22133	美術解剖学 I (筋)	2	1~4	前	講義	休講
彫 刻		22421	西洋建築史概説B	2	1~4	前	講義	265
λ,		22422	日本建築史概説B	2	1~4	後	講義	266
		22423	クラフトデザイン計画概論	2	$1 \sim 4$	後	講義	267
	選択専攻	22424	プロダクトデザイン概論	2	$1 \sim 4$	後	講義	268
	専門関連	22425	環境造形概論	2	1~4	前	講義	269
	31 300	22426	陶磁史概説B	2	1~4	前	講義	270
		22427	染織工芸史概説B	2	1~4	前	講義	271
		22427	生活造形概論B	2	1~4	後	講義	272
		22429	装飾概論 B	2	1~4	後	講義	273
		22429	漆芸概論 B	2	1~4	後	講義	274
		23112		<u>2</u>	1		 実技	77
	必修主要	23112	基礎演習	2	1	後	演習	84
	纪岭工女	23217	学外研究	4	2	後	演習	85
		23421		4	3~4			91
		23421	美学演習 I	4	$3\sim4$	通年	演習	91
		23423	芸術学演習 I	4	$3\sim4$	通年	演習	92
		23424	芸術学演習Ⅱ	4	$3\sim4$	通年	演習	93
		23425	日本美術史演習I	4	$3\sim4$	通年	演習	94
		23425	日本美術史演習Ⅱ	4	$3\sim4$	通年	演習	95
		23427	東洋美術史演習Ⅰ	4	$3\sim4$	通年	演習	96
		23428	東洋美術史演習Ⅱ	4	$3\sim4$	通年	演習	96
#		23429	西洋美術史演習Ⅰ	4	$3\sim4$	通年	演習	97
云		23423	西洋美術史演習Ⅱ	4	$3\sim4$	通年	演習	97
芸術学	選択主要	23442	芸術文化論演習	4	3~4	通年	演習	98
,		23431	語学演習A(英語)	4	$2\sim4$	通年	演習	100
		23431	語学演習B(独語)	4	$2\sim4$	通年	演習	102
		23432	語学演習C(仏語)	4	$2\sim4$	通年	演習	102
		23433	語学演習D(伊語)	4	$2 \sim 4$	通年	演習	103
		23434	高子演旨し(デ品) 原典研究A(古文書)	4	$2 \sim 4$	通年	演習	104
		23435	原典研究B(漢文)	4	$2 \sim 4$	通年	演習	休講
		23430	原典研究と(ラテン語)	4	$2\sim4$	通年	海百 演習	106
								100
			107					
-		25455	ひ言する語		۷ - 4	収	一件我	100

平成 31 年度 美術工芸学部開設授業科目表一覧(平成 29 年度入学生用)

1 700 -		/\ri3 _			<i>7</i> 5 (174	~		 /13/
対象 専攻	科目 区分	科目 コード	授業科目名	単位数	受講 年次	学期	授業 区分	頁
		23440	東洋美術史特講	2	$2\sim4$	前	講義	109
	選択主要	23228	日本美術史特講	2	$2\sim4$	後	講義	110
	送八工女	23441	西洋美術史特講	2	$2\sim4$	後	講義	111
		23227	比較芸術学特講	2	2~4	後	講義	112
		23125	芸術心理学	2	1~4	後	講義	293
		23126	芸術学	2	1~4	前	講義	294
		23135	彫刻史	2	1~4	前	講義	休講
		23136	デザイン史	2	1~4	前	講義	295
		23137	工芸史	2	1~4	前	講義	296
		23138	絵画史	2	1~4	後	講義	297
		23141	書道史	2	$1\sim4$	前	講義	298
		23142	現代芸術論A	2	$1\sim4$	後	講義	299
芸		23143	現代芸術論 B	2	$1\sim4$	前	講義	300
芸 術 学		23145	一般芸術学	2	1~4	後	講義	301
学	\22.40. == .76	23146	日本美術史	2	1~4	前	講義	302
	選択専攻 専門関連	23147	東洋美術史	2	1~4	前	講義	303
	守川利廷	23148	西洋美術史A	2	1~4	前	講義	304
		23149	西洋美術史 B	2	1~4	後	講義	305
		23320	絵画演習	4	$2\sim3$	通年	演習	274
		23321	彫刻演習	4	$2\sim3$	通年	演習	277
		23322	デザイン演習	4	$2\sim3$	通年	演習	286
		23323	工芸演習	4	$2\sim3$	通年	演習	289
		23443	陶磁史概説C	2	1~4	前	講義	275
		23444	染織工芸史概説C	2	1~4	前	講義	276
		23445	生活造形概論C	2	1~4	後	講義	277
		23446	装飾概論C	2	1~4	後	講義	278
		23447	漆芸概論C	2	1~4	後	講義	279
		24341	デザインⅢA	7	3	前	実技	133
	以收入市	24342	デザインⅢ B	7		後	実技	139
	必修主要	24331	デザイン特別演習	2	3 3	後	演習	145
		24391	学外研究	4	3	後	演習	146
		24132	西洋建築史	2	1~4	前	講義	308
		24133	日本建築史	2	1~4	後	講義	309
		24153	クラフトデザイン計画	2	1~4	後	講義	310
		24161	プロダクトデザイン論	2	1~4	後	講義	311
		24162	ビジュアルデザイン論	2	1~4	前	講義	312
デ	選択専攻	24171	視覚伝達論A	2	1~4	前	演習	313
ワ	専門関連	24172	視覚伝達論B	2	1~4	後	演習	314
デザイン		24181	環境造形論	2	1~4	前	講義	325
_		24182	色彩論	2	1~4	前	講義	326
		24184	人間工学	2	1~4	後	講義	327
		24251	図学	2	1~4	前	演習	316
		24252	CG基礎	2	$2\sim4$	後	演習	317
		25131	陶磁史	2	1~4	前	講義	318
	755 TEL 11 725	25132	染織工芸史	2	1~4	前	講義	319
	選択共通	25151	生活造形論	2	1~4	後	講義	320
	専門関連	25152	装飾論	2	1~4	後	講義	321
		25171	漆芸論	2	1~4	後	講義	322
		•						

平成 31 年度 美術工芸学部開設授業科目表一覧(平成 29 年度入学生用)

対象 専攻	科目 区分	科目 コード	授業科目名	単位数	受講 年次	学期	授業 区分	頁
		25321		14	3		実技	173
		25331	織Ⅱ	14	3	通年	実技	190
		25322	染織特別演習	2	3	後	演習	208
	必修主要	25311	陶芸Ⅱ	14	3	通年	実技	214
	纪岭工女	25311	陶芸特別演習	2	3	通年	演習	227
		25341	漆芸Ⅱ	14	3	通年	実技	235
		25341	漆芸特別演習	2	3	前	演習	250
		25131		2	1~4	前	講義	318
Т		25131	染織工芸史	2	1~4	前	講義	319
工 芸		25151	生活造形論	2	1~4	後	講義	320
		25151	装飾論	2	1~4	後	講義	321
		25162	図法及び製図	4	1~4	通年	演習	328
	選択専攻	25171		2	1~4	後	講義	322
	専門関連	25171	絵画史概説	2	1~4	後	講義	323
		25172	彫刻史概説	2	1~4	前	講義	休講
		25173	現代芸術概論A	2	1~4	後	講義	324
		25175	現代芸術概論B	2	1~4	前	講義	325
		25176	沖縄美術工芸史概説	2	1~2	後	講義	休講
		22132	美術解剖学 [(骨)	2	1~4	 前	講義	75
		22133	美術解剖学Ⅱ(筋)	2	1~4	前	講義	休講
		22202	金属演習	2	$2\sim4$	後	演習	292
		23125	芸術心理学	2	1~4	後	講義	293
		23126	芸術学	2	1 ~ 4	前	講義	294
		23135	彫刻史	2	1 ~ 4	前	講義	休講
		23136	デザイン史	2	1~4	前	講義	295
		23137	工芸史	2	1~4	前	講義	296
소		23138	絵画史	2	1~4	後	講義	297
全専攻対象		23141	書道史	2	1~4	前	講義	298
攻		23142	現代芸術論A	2	1~4	後	講義	299
対		23143	現代芸術論B	2	1~4	前	講義	300
家		23145	一般芸術学	2	1~4	前	講義	301
$\widehat{}$		23146	日本美術史	2	1~4	前	講義	302
部	選択共通	23147	東洋美術史	2	1~4	後	講義	303
部専攻	専門関連	23148	西洋美術史A	2	1~4	前	講義	304
	131 31702	23149	西洋美術史 B	2	1~4	後	講義	305
除		24132	西洋建築史	2	1~4	後	講義	308
私		24133	日本建築史	2	1~4	後	講義	309
日		24153	クラフトデザイン計画	2	1~4	前	講義	310
あ		24161	プロダクトデザイン論	2	1~4	前	演習	311
除く科目あり)		24162	ビジュアルデザイン論	2	1~4	後	演習	312
		24171	視覚伝達論A	2	1~4	前	講義	313
		24172	視覚伝達論 B	2	1~4	前	講義	314
		24181	環境造形論	2	1~4	後	講義	315
		24182	色彩論	2	1~4	前	演習	326
		24184	人間工学	2	$2\sim4$	後	演習	327
		24251	図学	4	1~4	通年	演習	316
		24252	CG基礎	2	1~4	後	演習	317
		25162	図法及び製図	2	2~4	後	演習	328
		21202		2	1~4			335
自由	科目	24202	スクリーン印刷演習	2	$2\sim4$	後	演習	336
		Z7ZUZ	ハノン ノ中側次日		Z - 4	汉	/八円	

平成 31 年度 美術工芸学部開設授業科目表一覧(平成 28 年度入学生用)

T-146 -	八十段				76 \T	W 20 7	-IX/\J	 /13/
対象 専攻	科目 区分	科目 コード	授業科目名	単位数	受講 年次	学期	授業 区分	頁
		21311	日本画Ⅲ	14	3	通年	実技	18
	21 kg -> ==	21411	日本画Ⅳ	15	4	通年	実技	20
	必修主要	21321	油画Ⅲ	14	3	通年	実技	32
		21421	· 油画Ⅳ	15	4	通年	実技	39
		21431	西洋建築史概説A	2	1~4		講義	256
		21432	日本建築史概説A	2	1~4	後	講義	256
絵		21433	ビジュアルデザイン概論	2	1~4	前	講義	257
絵画		21434	視覚伝達概論A	2	1~4	前	演習	258
	選択専攻	21435	視覚伝達概論B	2	1~4	後	演習	259
	専門関連	21436	陶磁史概説A	2	1~4	前(集中)	講義	260
		21437	染織工芸史概説A	2	1~4	前	講義	261
		21438	生活造形概論A	2	1~4	後	講義	262
		21439	装飾概論A	2	$1\sim4$	後(集中)	講義	263
		21440	漆芸概論A	2	1~4	後	講義	264
		22311	彫刻Ⅲ	14	3	通年	実技	63
	必修主要	22411	彫刻Ⅳ	15	4	通年	実技	68
		22331	彫刻特論Ⅱ	2	3	通年	講義	70
		22132	美術解剖学 I (骨)	2	1~4	前	講義	75
		22133	美術解剖学 Ⅱ (筋)	2	1~4	前	講義	休講
		22421	西洋建築史概説 B	2	$1\sim4$	前	講義	265
彫		22422	日本建築史概説 B	2	1~4	後	講義	266
彫 刻		22423	クラフトデザイン計画概論	2	$1\sim4$	後(集中)	講義	267
Λ,	選択専攻	22424	プロダクトデザイン概論	2	1~4	後	講義	268
	専門関連	22425	環境造形概論	2	1~4	前	講義	269
		22426	陶磁史概説 B	2	1~4	前(集中)	講義	270
		22427	染織工芸史概説 B	2	1~4	前	講義	271
		22428	生活造形概論 B	2	1~4	後 (生士)	講義	272
		22429	装飾概論B	2	1~4	後(集中)	講義	273
	以收予冊	22430	漆芸概論 B	<u>2</u> 5	1 ~ 4 4	後	講義	274
	必修主要	23411	卒業論文 美学演習 I	4		通年	演習	86
		23421 23422	夫子演習 I 美学演習 II	4	$3 \sim 4$ $3 \sim 4$	通年 通年	演習 演習	91 91
		23422		4	3~4 3~4	通年		92
		23423	芸術学演習 I 芸術学演習 Ⅱ	4	$3 \sim 4$ $3 \sim 4$	通年 通年	演習 演習	92
		23424	云州子海首I 日本美術史演習 I	4	3~4 3~4	通年	海習	93 94
		23425	日本美術史演習Ⅱ	4	3~4	通年	演習	95
		23427	東洋美術史演習Ⅰ	4	3~4	通年	演習	96
		23427	東洋美術史演習Ⅱ	4	3~4	通年	演習	96
		23429	西洋美術史演習Ⅰ	4	$3\sim4$	通年	演習	97
		23429	西洋美術史演習 II	4	$3 \sim 4$	通年	演習	97
		23442	芸術文化論演習	4	$3 \sim 4$	通年	演習	98
		23431	語学演習A(英語)	4	$2\sim4$	通年	演習	100
	選択主要	23432	語学演習B(独語)	4	$2\sim4$	通年	演習	102
<u>#</u>		23433	語学演習C(仏語)	4	$2\sim4$	通年	演習	103
芸 術 学		23434	語学演習D(伊語)	4	$2\sim4$	通年	演習	104
学		23435	原典研究A(古文書)	4	$2\sim4$	通年	演習	105
-		23436	原典研究B(漢文)	4	$2\sim4$	通年	演習	休講
		23437	原典研究C(ラテン語)	4	$2\sim4$	通年	演習	106
		23438	美学特講	2	$2\sim4$	通年	講義	107
		23439	芸術学特講	2	$2\sim4$	通年	講義	108
		23440	東洋美術史特講	2	$2\sim4$	通年	講義	109
		23228	日本美術史特講	2	$2\sim4$	通年	講義	110
		23441	西洋美術史特講	2	$2\sim4$	通年	講義	111
		23227	比較芸術学特講	2	$2\sim4$	通年	講義	112
		23125	芸術心理学	2	1~4	~	講義	293
		23126	芸術学	2	1~4	前	講義	294
	選択専攻	23135	彫刻史	2	1~4	前	講義	休講
	専門関連	23136	デザイン史	2	1~4	前	講義	295
		23137	工芸史	2	1~4	前	講義	296
		23138	絵画史	2	$1\sim4$	後	講義	297

平成 31 年度 美術工芸学部開設授業科目表一覧(平成 28 年度入学生用)

TIME	フ・十次	大川山	_女子叫州政汉未作	101	兒 (丁/	W 20 4	·汉八丁	工内)
対象 専攻	科目 区分	科目 コード	授業科目名	単位数	受講 年次	学期	授業 区分	頁
					$1\sim4$			298
	京学 1 - 4 1 1 1 2 2 1 - 4 6 1 3 3 3 3 3 3 3 3 3		299					
					1~4			300
					1~4			301
								302
								303
								304
==								305
磊	選択専攻							274
学	専門関連							283
-								286
								289
								275
					-			276
					-			277
								278
								279
								98
								133 139
	以收予曲				3 1			139
	必 修土安							144
					3			145
								306
								310
								311
								312
デ	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\							313
ザ	選択専攻							314
1	等门 関理				1~4			315
					1~4			326
		24184	人間工学	2	$1\sim4$	後	講義	327
					$1\sim4$	前	演習	316
								317
								318
	選択共涌							319
	専門関連							320
								321
								322
								182
					<i>3</i>			190 202
								202
				2	3			208
	必修主要				4			223
	纪时上女							235
								246
					2			249
_				2	3			250
_					3			166
云								318
				2	1~4		講義	319
			生活造形論	2	$1\sim4$		講義	320
					$1 \sim 4$	後	講義	321
								328
	専門関連							322
								323
								休講
								324
		25175	現代芸術概論 В	2	1~4	前	講義	325

平成 31 年度 美術工芸学部開設授業科目表一覧(平成 28 年度入学生用)

対象 専攻	科目 区分	科目 コード	授業科目名	単位数	受講 年次	学期	授業 区分	頁
		22132	美術解剖学 I (骨)	2	1~4	前	講義	75
		22133	美術解剖学 II (筋)	2	$1 \sim 4$	前	講義	休講
		22202	金属演習	2	$2 \sim 4$	後	演習	292
		23125 23126	芸術心理学	2 2	1~4	後	講義 講義	293 294
		23126	芸術学 彫刻史	2	1 ~ 4 1 ~ 4	前 前	神我 講義	294 休講
		23136	デザイン史	2	1~4	前	講義	295
^		23137	工芸史	2	1~4	前	講義	296
王		23138	絵画史	2	$1 \sim 4$	後	講義	297
及		23141	書道史	2	1~4	前	講義	298
全専攻対象		23142	現代芸術論A	2 2	1~4	後	講義	299
象		23143	現代芸術論B	2	1~4	前	講義	300
$\widehat{}$		23145	一般芸術学	2	1~4	後	講義	301
	/55.TUTT/A	23146	日本美術史	2	1~4	前	講義	302
事	選択共通 専門関連	23147	東洋美術史	2	$1\sim4$	前	講義	303
뀿	守川利圧	23148	西洋美術史A	2	$1\sim4$	前	講義	304
部専攻除く科目あり)		23149	西洋美術史 B	2	$1\sim4$	後	講義	305
X		24131	建築史	4	$1\sim4$	通年	講義	306
件 白		24153	クラフトデザイン計画	2	$1\sim4$	後	講義	310
묾		24161	プロダクトデザイン論	2	$1\sim4$	後	講義	311
ij		24162	ビジュアルデザイン論	2	1~4	前	講義	312
)		24171	視覚伝達論A	2	1~4	前	演習	313
		24172	視覚伝達論B	2	1~4	後	演習	314
		24181	環境造形論	2 2	1~4	前	講義	315
		24182 24184	色彩論 人間工学	2	1 ~ 4	前%	講義	326 327
		24164	人间上子 図学	2	1 ~ 4 1 ~ 4	後 前	講義 演習	316
		24251	CG基礎	2	$2 \sim 4$	後	演習	317
		25162	図法及び製図	4	1~4	通年	演習	328
-		24203		3	$\frac{1}{2} \sim 4$			334
	デザイン	24204	彫刻C	4	$2\sim4$	前	演習	334
	, , , ,	24205	工芸D	4	$2\sim4$	通年	演習	334
		22203	 絵画 A	3	2~4	通年	演習	334
	彫刻	22204	デザインB	3	$1\sim4$	通年	演習	334
		22205	工芸B	4	$2\sim4$	通年	演習	334
自		25203	絵画D	3	$2\sim4$	通年	演習	334
虫	工芸	25204	彫刻D	4	$2\sim4$	前	演習	334
自由科目		25205	デザインD	3	1~4	通年	演習	334
		23101	絵画 B	3	$2\sim4$	通年	演習	334
	芸術学	23102	彫刻 B	4	$2\sim4$	前	演習	334
		23103	デザインC	3	$1 \sim 4$	通年	演習	334
		23104 21203	工芸C 彫刻A	4	$2 \sim 4$ $2 \sim 4$	通年 前	演習 	334 334
	絵画	21203	彫刻A デザインA	3	2~4 1~4	通年	演習 演習	334 334
	心区田	21204	工芸A	4	$2\sim4$	通年	演習	334
		21202		2	$\frac{2 - 4}{1 \sim 4}$	 後	 	335
自由	科目	24202	スクリーン印刷演習	2	$2\sim4$	後	演習	336
						.X	/X-D	

平成31年度 美術工芸学部開設授業科目表一覧(平成27年度以前入学生用)

1 144 -	- 1	7 (13 2			· · · · · · · · ·		~1137 ~ 3	
対象 専攻	科目 区分	科目 コード	授業科目名	単位数	受講 年次	学期	授業 区分	頁
絵画	必修主要	21411 21421	日本画IV 油画IV	15 15	4 4	通年 通年	実技 実技	20 39
彫刻	 必修	22311	彫刻Ⅲ	14	3	通年	実技	63
一	主要	22411	彫刻Ⅳ	15	4	通年	実技	68
		23228	日本美術史特講	2	2~4	前	講義	111
		23411	卒業論文	5	4	通年	演習	86
		23421	美学演習Ⅰ	4	$3 \sim 4$	通年	演習	91
		23422 23424	美学演習 Ⅱ 芸術学演習 Ⅱ	4 4	3 ~ 4 3 ~ 4	通年 通年	演習 演習	91 93
		23424	日本美術史演習Ⅰ	4	3~4	通年	演習	93
		23426	日本美術史演習Ⅱ	4	$3 \sim 4$	通年	演習	95
#	必修主要	23428	東洋美術史演習Ⅱ	4	3~4	通年	演習	96
芸 術 学		23430	西洋美術史演習Ⅱ	4	3~4	通年	演習	97
学		23432	語学演習B(独語)	4	2~4	通年	演習	102
		23434	語学演習D(伊語)	4	$2\sim4$	通年	演習	104
		23435	原典研究A(古文書)	4	$2\sim4$	通年	演習	105
		23437	原典研究C(ラテン語)	4	$2\sim4$	通年	演習	106
		23438	美学特講	2	2~4	前	講義	107
	選択	23320	絵画演習	4	$2\sim3$	通年	演習	280
	専門関連	23321	彫刻演習	4	$2\sim3$	通年	演習	283
-		23322 24331	<u>デザイン演習</u> デザイン特別演習	<u>4</u> 2	2~3 3	通年 後	演習 演習	286 145
デ		24331	プリイン特別演音 デザインⅢA	7		前	実技	133
デザイン	必修主要	24342	デザインⅢB	7	3 3 3	後	実技	139
イン	201912	24391	学外研究	4	3	後	演習	146
		24431	デザインⅣ	15	4	通年	実技	144
		25321		14	3	通年	実技	173
		25421	染Ⅲ	15	4	通年	実技	182
		25331	織Ⅱ	14	3	通年	実技	190
		25431	織Ⅲ	15	4	通年	実技	202
		25232	繊維科学	2	2	後	講義	206
I	以收入西	25242	漆芸科学	2	2	後	講義	249
工 芸	必修主要	25311 25411	陶芸Ⅱ 陶芸Ⅲ	14 15	3 4	通年 通年	実技 実技	214 223
		25312	陶芸皿陶芸型	2	3	通年	天汉 演習	223
		25341	漆芸Ⅱ	14	3	通年	実技	235
		25441	漆芸Ⅱ	15	4	通年	実技	246
		25322	染織特別演習	2	3	前	演習	208
		25391	古美術研究	4	3	後	演習	166
		22132	美術解剖学 I (骨)	2	1~4	前	講義	75
		22133	美術解剖学 Ⅱ (筋)	2	$1 \sim 4$	前	講義	休講
		22202	金属演習	2	2~4	後	演習	292
		23125	芸術心理学	2	1~4	後	講義	293
		23126	芸術学	2	1~4	前	講義	294
		23136 23137	デザイン史 工芸史	2	1 ~ 4 1 ~ 4	前前	講義 講義	295 296
		23137	ムスと 絵画史	2	$1 \sim 4$ $1 \sim 4$	前 後	神我 講義	296 297
全		23141	書道史	2	1~4	前	講義	298
専	選択	23142	現代芸術論A	2	1~4	後	講義	299
以	専門関連	23143	現代芸術論B	2	1~4	前	講義	300
益	全 専 選択 攻 専門関連 共 通	24131	建築史	4	$1\sim4$	通年	講義	306
×		24153	クラフトデザイン計画	2	$2\sim4$	後	講義	310
		24161	プロダクトデザイン論	2	1~4	後	講義	311
		24162	ビジュアルデザイン論	2	1~4	前	講義	312
		24171	視覚伝達論A	2	1~4	前	演習	313
		24172	視覚伝達論 B	2	1~4	後前	演習	314
		24181 24182	環境造形論 色彩論	2	1 ~ 4 1 ~ 4	前 後	講義 講義	315 326
		24182	巴杉珊 人間工学	2	$1 \sim 4$ $1 \sim 4$	後	神我 講義	327
		4104	/시미ㅗㅜ	_	4	区	四十五次	321

平成31年度 美術工芸学部開設授業科目表一覧(平成27年度以前入学生用)

対象 専攻	科目 区分	科目 コード	授業科目名	単位数	受講 年次	学期	授業 区分	頁
		24251	図学	2	1~4	前	演習	316
		24252	CG基礎	2	$2\sim4$	後	演習	317
		25131	陶磁史	2	$1\sim4$	前	講義	318
		25132	染織工芸史	2	$1\sim4$	前	講義	319
全		25151	生活造形論	2	$1\sim4$	後	講義	320
全専攻共通	\22.4CI	25152	装飾論	2	$1\sim4$	後	講義	321
攻	選択 専門関連	25162	図法及び製図	4	$1\sim4$	通年	演習	328
共	守川利廷	25171	漆芸論	2	$1\sim4$	後	講義	322
通		23145	一般芸術学	2	1~4	後	講義	301
		23146	日本美術史	2	1~4	前	講義	302
		23147	東洋美術史	2	$1\sim4$	前	講義	303
		23148	西洋美術史A	2	1~4	前	講義	304
		23149	西洋美術史 B	2	$1\sim4$	後	講義	305
		21201	絵画	3	2~4	通年	演習	333
		22201	彫刻	4	$2\sim4$	前	演習	333
白什	科目	24201	デザイン	3	$1\sim4$	通年	演習	333
	177H	25201	工芸	4	$2\sim4$	通年	演習	333
		21202	写真演習	2	$1\sim4$	後	演習	335
		24202	スクリーン印刷演習	2	2~4	後	演習	336

実務経験のある教員による授業科目(実践的教育を行う授業)

像専攻等		区分	授業科目名	単位数	授業区分	教員名	職	担当形態	実務経験等	掲載														
			ビジュアルデザイン概論 ビジュアルデザイン論	2	講義	笹原浩造	准教授	単独	アートディレクター、化粧品会社宣 伝部勤務(1986 ~ 2010 年)	257 312														
	\22		視覚伝達概論 A 視覚伝達論 A (印刷)	2	演習	赤嶺雅	教授	単独	グラフィックデザイナー、民間企業 (情報通信機械器具製造業、印刷業) デザイン室勤務(1986 ~ 1992 年)	258 313														
学 部	選択科目	共通専門 関連科目	視覚伝達概論 B 視覚伝達論 B (映像)	2	演習	仲本賢	教授	単独	映像作家	259 314														
LIP.	目	IXEN L	環境造形概論 環境造形論	2	講義	宮里武志	准教授	単独	設計事務所主宰、建築設計事務所等 勤務(1994~2002年)	269 315														
			日本美術史	2	講義	小林純子	教授	単独	公立博物館学芸員(1989~1994年)	302														
			西洋美術史 B	2	講義	土屋誠一	准教授	単独	美術批評家	30.														
			CG基礎	2	演習	真喜志康一	非常勤講師	単独	デザイン事務所経営	31														
			日本画IV	15	実技	平山英樹 香川亮	教授 准教授	複数	日本画家 画家	20														
絵	必		3 , 3			関谷理	講師			1														
絵画専攻	必修科目	主要科目				田中睦治	教授		美術家															
攻			油画Ⅳ	15	実技	知花均	教授	複数	版画家	39 ~														
			/BC		70,2	髙﨑賀朗	准教授	1220	画家	1														
						波多野泉	教授		彫刻家															
						砂川泰彦	教授	1	彫刻家	1														
			彫刻IV	15	実技			複数		6														
彫	ıλ					河原圭佑	講師	-	彫刻家	-														
刻	修	主要科目				長尾恵那	講師		彫刻家															
彫刻専攻	必修科目					波多野泉	教授		彫刻家															
			BV力ル共≒会 T	2	芸羊	砂川泰彦	教授	+1-157	彫刻家	7														
			彫刻特論Ⅱ		講義	河原圭佑	講師	オムニバス	彫刻家] ′														
						長尾恵那	講師	1	彫刻家	1														
			芸術学演習 I	4	演習	土屋誠一	准教授	単独	美術批評家	9														
芸選			芸術学演習Ⅱ	4	演習	土屋誠一	准教授	単独	美術批評家	9														
	選				**					-														
学	選択科目	主要科目	日本美術史演習I	4	演習	小林純子	教授	単独	公立博物館学芸員(1989~1994年)	9														
芸術学専攻	Ĭ		日本美術史演習Ⅱ	4	演習	小林純子	教授	単独	公立博物館学芸員(1989 ~ 1994 年)	9.														
~			芸術学特講	2	講義	土屋誠一	准教授	単独	美術批評家	10														
			日本美術史特講	2	講義	小林純子	教授	単独	公立博物館学芸員(1989~1994年)	11														
												笹原浩造	准教授	複数	アートディレクター、化粧品会社宣 伝部勤務(1986 ~ 2010 年)	13 13								
																					高田浩樹	准教授	単独	デザイン事務所主宰
			デザインⅢ A	7	実技	又吉浩	准教授	単独	アニメーション作家	13 13														
						宮里武志	准教授	単独	設計事務所主宰、建築設計事務所等 勤務(1994~2002年)	13 13														
デザ	גה.					座波嘉克	教授	複数	プロダクトデザイナー	13 13														
7	修修	主要科目				(インター)	ノシップ)	複数	インターンシップA・B	13														
デザイン専攻	必修科目	TX 110				又吉浩	准教授	単独	アニメーション作家	13 14														
~						高田浩樹	准教授	単独	デザイン事務所主宰	13 14														
			-11-111 / >	_		仲本賢	教授	十二十二	映像作家	13														
			デザインⅢB	7	実技	又吉浩	准教授	_ 複数	映像作家	14														
						赤嶺雅	教授	複数	グラフィックデザイナー、民間企業 (情報通信機械器具製造業、印刷業) デザイン室勤務(1986~1992年)	13														
						(インター)	 /シップ)	複数	インターンシップC・D	13														
	П		\$ т. ш	1-	ф±+	渡名喜はるみ	教授		染色家															
			染Ⅲ	15	実技	名護朝和	教授	複数	染色家	182~														
			⟨並 Ⅲ	1 [ф++	真栄城興茂	教授	岩米	染織家、織工房主宰	20														
_	יה.		織Ⅲ	15	実技	花城美弥子	准教授	− 複数	染織家	20														
芸	修	主要科目	Pa ≠ π	1 -	⇔ ++	山田聡	教授	大学ホア	陶芸家															
工芸 専 攻	必修科目	工女们日	陶芸Ⅲ	15	実技	島袋克史	講師	- 複数	陶芸家	22														
以						糸数政次	教授	,	漆芸家、県工芸振興センター勤務 (1990~2013年)															
			漆芸Ⅲ	15	実技	水上修	教授	複数	漆芸家	246~														

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
24124 24208	工芸 (デ) 工芸 D	2 単位・前期	1	演習	山田 聡 非常勤講師

※平成29年度入学生は、「24208」、平成30年度入学生以降は、「24124」を登録すること。(デザイン専攻のみ受講可)

■テーマ

・デザイン専攻学生のための工芸プロダクト制作

■授業概要

・この演習は、工芸分野におけるプロダクト生産(量産器物への転写)の一端をデザイン専攻学生対象に解説、実践を行うものである。

■到達目標

- ・工芸における素材と技法・工程、道具や機器等の操作を理解し作品に表現できる。
- ・工芸制作を通して、工芸の特性と量産の概念を理解する。
- ・ 地域の9 伝統工芸の表現と日本の工芸の伝統や文化、アジアの工芸について鑑賞し理解を深める。
- 「素材と技法・工程」「工芸の特性と量産」の理解しレポート作成ができること。

■授業計画・方法

- 1. 課題説明(工芸分野におけるプロダクトとは)図案用モチーフの準備
- 2. 器ならびに図案構想(教員による個別指導)
- 3. 器制作 (カップ&ソーサー)
- 4. 器制作(仕上げ)
- 5. シルクスクリーン技法実践(版作成)
- 6. シルクスクリーン技法解説 (シルクスクリーン版作成法と注意点)
- 7. 転写紙技法解説(転写用インクの準備)
- 8. 器物への転写技法解説 転写準備
- 9. 器物への転写技法実践
- 10. 燒成解説
- 11. 焼成準備(転写、釉がけ)
- 12. 焼成実践 (窯詰・上絵焼成温度800℃) 教室清掃
- 13. 工芸作品鑑賞 (スライドなど)
- 14. 窯出し、講評会準備
- 15. 講評会、レポート提出

定期試験は実施しない。

■履修上の留意点(授業以外の学習方法を含む)

- レポートの提出を行う
- ・電気窯などの危険器具を扱うため、注意を怠らないこと

■成績評価の方法・基準

- □方法 提出作品 40%・平常点 30%・講評会発言及びレポート 30%で総合的に評価する。
- □基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

■教科書·参考文献(資料)等

□ 教科書・テキスト

特になし

□ 参考文献 • 参考資料

特になし

I

 科目コード
 授業科目名
 単位数・学期
 受講年次
 授業区分
 担当教員名

 25112
 描写
 1 単位・前期
 1
 実技
 佐藤 文彦(非)

■テーマ 細密描写による鉛筆デッサンおよび点描表現

■授業の概要

モチーフを立体的にとらえ、その構造や位置関係から形を学びとり、質感も含めて細密に鉛筆で描写する技法を学ぶ。 さらに物を造形的にとらえ、点描により意匠的表現方法を習得する。

■到達目標

- ・モチーフを良く観察し、細密描写することができる。
- ・細密描写に点描を加え意匠表現ができる。

■授業計画·方法

- 1. 描写についてのレクチャー
- 2. 五感を使って観察する
- 3. 自然物の造形、構造
- 4. スケッチについて
- 5. スケッチを行う
- 6. 様々な自然素材、質感
- 7. 細密描写について
- 8. 美術作品の鑑賞
- 9. 細密描写による作品制作
- 10. モチーフの捉え方
- 11. 点描について
- 12. 点描による作品制作
- 13. 意匠的な表現方法
- 14. 仕上げ
- 15. 講評・レポート提出

定期試験は実施しない。

■履修上の留意点(授業以外の学習方法を含む)

- ・自然物(鉱物、貝類等)の質感を留意しておく。
- ・点描に関する作品や書籍等を見て表現のイメージをつくっておく。

■成績評価の方法・基準

□方法 平常点(30%)、提出物(20%)、作品(50%)。平常点は授業への参加状況、レポート等の提出物、完成作品により総合的に評価する。

□基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

■教科書・参考文献(資料)等

□参考資料:佐藤文彦『遥かなる御後絵』作品社

□参考文献:点描に関するプリント等を教員が配布する。

 科目コード
 授業科目名
 単位数・学期
 受講年次
 授業区分
 担当教員名

 25113
 色彩
 1 単位 前期
 1
 実技
 佐藤 文彦(非)

■テーマ 東洋画「肉理紋」描法による細密彩色肖像画制作

■授業の概要

「描写」の細密表現を踏まえて、彩色による人物と服装・装飾の細密表現を琉球時代の表現方法「肉理紋」描法を学ぶ。 その中で顔・毛髪の人物部分の質感と、服装・装飾部分の文様表現の均衡に留意して意匠的表現方法を習得する。

■到達目標

- 人物を良く観察して、肌や顔の部位を彩色による細密描写ができる。
- ・人物と服飾の模様や装飾品等の質感表現との均衡を取って意匠表現ができる。

■授業計画·方法

- 1. 色彩についてのレクチャー
- 2. 美術作品の鑑賞
- 3. 描写する人物の選択と服装・装飾の構成
- 4. 人物写真の印刷とアイデアスケッチ
- 5. 下図制作、セロファンへの転写、薄紙への転写・素描
- 6. 本画制作、和紙への骨描き
- 7. 下塗り(地塗り)
- 8. 肌部分(顔面、手)の描写
- 9. 毛髪部分の描写
- 10. 服装、装飾品等の描写
- 11. 肉理紋(色彩細密描写) について
- 12. 肉理紋による作品制作
- 13. 服装、装飾文様の意匠的表現
- 14. 仕上げ
- 15. 講評・レポート提出

定期試験は実施しない。

■履修上の留意点 (授業以外の学習方法を含む)

- ・基本的な人物の上半身、特に顔から胸部、腕の骨格と筋肉について把握しておく。
- ・和柄や民族衣装などの伝統模様について留意しておく。

■成績評価の方法・基準

口方法 平常点 (30%)、提出物 (20%)、作品 (50%)。平常点は授業への参加状況、レポート等の提出物、完成作品 により総合的に評価する。

□基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

■教科書・参考文献(資料)等

□テキスト:「朝鮮の『御眞』描法と琉球の『御後絵』描法の共通性」(佐藤文彦著)を教員が配布。 □参考文献:佐藤文彦『遥かなる御後絵』作品社 東洋画の基本描法等を適宜プリント、配布する。
 科目コード
 授業科目名
 単位数・学期
 受講年次
 授業区分
 担当教員名

 25114
 立体構成
 1 単位・前期
 1 実技
 國吉 聡 (非)

■テーマ 異素材を組み合わせたオブジェ制作

■授業の概要

木材とポリスチレンパネル、アルミスクリーンを組み合わせて、自由なオブジェをデザインし制作する。

■到達目標

- ・木やその他の素材を組み合わせて自立可能な構造物を制作することで、各素材の特性を理解し創造力を高めることができる。
- ・異素材を組み合わせることでデザインの可能性を追求し、自身の感性を磨くことができる。

■授業計画·方法

- 1. 素材や道具の説明
- 2. 参考作品やデザイン作品集の鑑賞
- 3. アイデアスケッチ
- 4. 簡易的な模型を作りアイデアを確認
- 5. アイデアを修正しアイデアスケッチの完成
- 6. 素材のカッティング加工
- 7. 素材の曲げ加工
- 8. 素材パーツ接着部分の具体的検討
- 9. 素材パーツ接着部分の加工
- 10. 素材パーツの仕上げ
- 11. 組み立て・接着
- 12. 全体の最終調整・修正
- 13. 全体の仕上げ
- 14. プレゼンテーション及び講評会
- 15. レポート提出

定期試験は実施しない。

■履修上の留意点

- ・全日程参加すること。
- レポートはA4サイズで提出。

■成績評価の方法・基準

□方法 平常点(授業への参加状況 30%)、作品とレポートの提出 (70%)による総合評価。

□基準 授業への取り組みを踏まえ、作品の完成度を総合的に評価する。到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

■教科書・参考文献(資料)等

□参考文献 パンダグラフ『造形工作アイデアノート』グラフィック社 朝倉直巳 編・著『芸術・デザインの立体構成』 六耀社

□参考資料 授業内で作品集の提示、関係資料の配布

科目コート	<i>授耒科目名</i>	<i>単位致•字期</i>	<i> </i>	<i>授某区分</i>	担当教員名
25101	工芸 I	7 単位・後期	1	実技	名護 朝和 糸数 政次 山田 聡 真栄城 興茂 非常勤講師

■テーマ
工芸の基礎的表現や素材に触れ、自己の思考を造形し工芸制作を行う。

■授業概要

染基礎①では、伝統技法である筒描き糊防染技法を用いて、綿と絹を素材に染色表現する。

漆芸基礎①では、鮑貝を使った螺鈿技法による平面作品(パネル)の制作を行う。

織基礎①では、織機や道具の仕組みを理解し織技術を学び、平織り技法をもちいて布地を織り上げる。

陶芸基礎①では、原始的な土器制法をもって焼物の基礎知識を習得し、土の素材感、焼物の物質的変化を体感する。

■到達目標

- ・伝統的な工芸表現を理解し、自己の思考を形にした造形力を身につける。
- それぞれの技法や工程を理解し、その伝統的な表現の良さを生かし制作の構想を練ることができる。
- ・用具や道具の仕組みを理解し、意図に応じて活用することができる。
- ・自然と工芸のかかわり、生活や社会の中での工芸について考え、理解を深める。

■授業計画·方法

- 1.「染基礎」課題①説明、布トレース、筒描、地入れ、染色、蒸し、水元
- 2. 課題②説明、イメージエスキース、草稿、草稿完成、布トレース、筒描
- 3. 筒描、地入れ、染色、蒸し、糊伏せ
- 4. 糊伏せ、地染、蒸し、水元、講評会
- 5. 「漆芸基礎」裏彩色、漆や螺鈿技法について、パネル研ぎ、摺漆
- 6. デザイン検討、置目取り、貝を切る、貝を貼りつける、浮きを直す
- 7. 漆塗込み1回目、研ぎ、漆塗込み2回目、研ぎ出し
- 8. 仕上げ研ぎ、摺漆、胴摺り、磨き仕上げ、講評会
- 9. 「織基礎」課題説明、糸繰り、意匠、織物設計、整経
- 10. 仮筬通し、経巻き、綜絖通し、筬通し、織りつけ、緯糸管巻き
- 11. 仮筬通し、経巻き、綜絖通し、筬通し、織りつけ、緯糸管巻き、製織、講評会
- 12. 「陶芸基礎」課題説明、シャモット作り、原土乾燥、シャッモット焼成
- 13. シャモット原土粉砕、フルイかけ、作品エスキース作り
- 14. 作品制作開始、ビデオ観賞、作品完成、乾燥、焼成準備
- 15. 焼成、窯出し、講評会

定期試験は行わない

■履修上の留意点(授業以外の学習方法を含む)

- ・各実習の評細については該当するページを見ること。やむを得ず欠席する場合は必ず学科室に連絡すること。
- ・各実習の終了時に作品を提出し、自己評価を含め講評を行う。講評を無断で欠席した者は評価しない。

■成績評価の方法・基準

□方法 各課題の評価をもとに教員の合議により総合判定する

□基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

■教科書·参考文献(資料)等

□**教科書** 各課題内で、必要に応じて指示する

□ テキスト 各課題内で、必要に応じて指示する

□ 参考文献 東京国立近代美術館工芸課編『工芸の見かた・感じ方』淡交社 沖縄美術全集 沖縄タイムス社

【実習名】 染基礎①

- 【期 間】 10月2日(水)~10月28日(月) 18日間
- 【教室】 基礎実技室 共通染場
- 【担当】 名護 朝和 赤嶺 知咲(非)
- 【課題】課題①「縞」 課題②「自然現象」をテーマに筒描で表現。

【授業概要】 (テーマ)

本授業では、伝統技法である筒描き糊防染技法を用いて、綿と絹の布素材に表現展開する。

【到達目標】

- ・基本的な筒描、糊防染技法を習得することができる。
- ・素材と技法・工程、道具や化学染料の特性について理解することができる。
- ・自然現象を題材にイメージ構築し、布素材へ表現展開することができる。
- ・伝統技法について理解を深める。

【授業計画】

- 1 課題説明(伝統技法の解説)
- 2 縞をテーマにイメージエスキース
- 3 綿布ヘトレース 防染技法についての解説
- 4 筒描き実践 (課題①「縞」)
- 5 直接染料について解説 綿布地入れ 直接染料の準備
- 6 染色実践(課題①「縞」) 化学染料の定着方法と水元について
- 7 課題①蒸し・水元の実践
- 8 自然現象をテーマに図案構想、工程の確認
- 9 図案作成と工程の確認 (教員による個別指導)
- 10 絹ヘトレース 酸性染料について解説
- 11 筒描き実践 (課題②「自然現象」) 酸性染料の準備
- 12 染色実践(課題②「自然現象」)
- 13 染色作品鑑賞(友禅染着物)
- 14 課題②蒸し・水元の実践
- 15 講評会 レポート提出

【成 果】 木綿「縞」作品1点、絹「自然現象」作品1点、レポート

【評価の方法・基準】

□方法 作品提出(70%)、平常点(20%)、講評会での発言及びレポート(10%)で総合的に評価する。

□基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

【テキスト・参考文献(資料)等】

□参考文献 手描友禅染の技法と技術 染織と生活社

【実習名】 漆芸基礎① (螺鈿)

【期 間】 10月 29日(火) ~ 11月 26日(火)

【教室】 首里崎山キャンパス工芸棟 基礎実技室

【担 当】 糸数政次 新垣奈央(非常勤講師)

【課題】 鮑貝を使った螺鈿技法による平面作品 (パネル) の制作

【授業の概要】 (テーマ) 螺鈿技法によるパネル制作

触貝を使った螺鈿技法による平面作品の制作を行う。本授業では箔の扱い方や薄貝螺鈿の代表的な技法 "裏彩色" として、裏面に金箔を貼る技法も学ぶ。貝の貼付から塗り、研出、磨き仕上げまで、漆芸の加飾工程を作業を行う中で理解していく。また様々な螺鈿素材、その他加飾材料・技法や作品なども紹介し、幅広く漆芸全般に関する基礎知識を学ぶ。本授業の平面作品に対し、2年次の「乾漆」技法による立体造形作品の制作を行うことで、平面と立体の作品制作を体験しながら漆芸全般の特徴を理解し各自の適性を探る。

【到達目標】

- ・漆芸素材の特徴や制作工程を理解し、鮑貝を活かした平面作品として独自の表現ができる。
- ・漆芸全般の基礎知識を理解すると共に、一般的な絵画表現との違いを認識することができる。

【授業計画・方法】

- 1. 課題説明、漆・螺鈿技法・箔・裏彩色についてのレクチャー
- 2. パネル研ぎ、摺漆、デザイン検討及び決定
- 3. 置目取り、貝を切る
- 4. 貝を切り貼付け
- 5. 貝を切り貼付け、浮いた貝を剥がす
- 6. 貝を切り貼付け、浮いた貝の貼り直し、固め
- 7. 黒呂色漆の塗込み(1回目)
- 8. 駿河炭で水研ぎ、炭粉胴摺り
- 9. 黒呂色漆の塗込み(2回目)、乾燥
- 10. 駿河炭で研ぎ出し(8割)、摺漆
- 11. クリスタル砥石#1500で仕上げ研ぎ、摺漆
- 12. クリスタル砥石#2000で最終仕上げ研ぎ、摺漆
- 13. 胴擦り、摺漆
- 14. 磨き仕上げ
- 15. 掃除、講評会

定期試験は実施しない。

【成果物】

・螺鈿加飾のパネル

【評価の方法・基準】

口方法 課題作品とレポートの提出 70%、平常点(授業への参加状況)30%による総合評価

□基準 漆芸素材の特徴や制作工程を理解し、独自の表現ができているか。 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

【テキスト・参考文献(資料)等】

□作品・図録、道具等を紹介する。

□参考文献 東京国立近代美術館工芸課編『工芸の見かた・感じ方』淡交社 荒川浩和『螺鈿』同朋舎 【実習名】 織基礎①

【期 間】11月27日(火)~ 12月20日(金)

【教室】 工芸実技室 織実技室1

【担 当】 真栄城 興茂、大濱 真子 (非)

【課 題】 織機や織道具の仕組みを理解しながら、実習を通して織技術を学び、布地を織り上げる。

【授業概要】 (テーマ)

基本である平織を通して、経・緯糸の準備、織機の準備や製織技術を学ぶ。

【到達目標】

- ・素材である糸(綿糸)の適切な扱い方を学ぶ。
- ・経糸の準備の工程を理解し適正な作業方法を学ぶ。
- ・適正な織技術と織機や道具の使用法を習得する。

【授業計画・方法】

- 1 【課題説明】 昨年までの授業資料を参考にしながら、使用する糸の理解を深める。
- 2 【映像鑑賞】 沖縄の織物作品制作の映像を鑑賞し理解を深める。
- 3【資料調査・意匠設計】 見本裂や作品集等を閲覧し、縞のデザインを学び図柄を決定する。
- 4 【織機・道具】 織機や織道具の使用方法や注意点を学ぶ。
- 5【糸繰り】 糸を木枠に巻く際の分け方や糸はたき等の手法を学ぶ。
- 6【整経】 図案に沿って地の経糸、縞の経糸のテンションを保ちながら糸を揃える。
- 7【仮筬】 経絣糸、縞、地糸を図案に合わせて織幅に割り込みする。
- 8【経巻】 絣柄や全体のテンションに気を付け、機草(紙)を差しこみながら経糸を巻き取る。
- 9【綜絖】 経糸の順番を間違えないよう、慎重に綜絖通しを行う。
- 10【筬】 筬目を間違えぬよう気を付けながら筬通しを行う。
- 11【緯糸の準備】 適正な量の緯糸を小管に巻き取る。
- 12【織付け】 織幅に合わせて経糸を結び、織付け用の緯糸を織り込む。
- 13【製織】 経糸の張り具合に気を付け、織幅に注意しながら緯糸を織り込む方法を学ぶ。
- 14【作品仕上げ】 織上げた布の余分な糸を切り、始めと終わりの経糸をフサとして結ぶ。
- 15【片付け】 織機・織道具の適切な片付け方、収め方を学ぶ。

【作品評価】 作品・レポートの提出、講評会

【成果物】

- 木綿の縞の織布

【評価の方法・基準】

口方法

課題作品80% レポート20%

□基準

意匠設計が各自のデザインと織物設計に結びついているか

素材である綿糸の扱い方が適切か

製織が適正になされているか

織機や道具類の扱い方が適切か

【テキスト・参考文献(資料)等】

□参考資料 織作品・見本裂 (染織資料室) 平良敏子の芭蕉布 (DVD)、上原美智子のあけすば織 (DVD)

口参考文献 日本民藝館所蔵 沖縄染織品 第1巻 田中俊雄蒐集 沖縄織物裂地 発行 沖縄県立芸術大学附属研究所

【実習名】 陶芸基礎①

【期 間】 1月6日(月)~1月30日(木) 18日間

【教 室】 首里崎山キャンパス 工芸棟基礎実技室・陶芸分野野外作業場

【担 当】 山田 聡、増田 良平(非)

【課 題】 土器制作

【授業の概要】(テーマ)

原始的な土器制法をもって、焼物の基礎知識を習得する。また、この課題を通して土の素材感、焼物の物質的変化を体感する。

【到達目標】

- ・土器土の扱いに留意して制作ができること。
- ・素材感を生かした造形が行えること。
- ・制作から焼成までの工程を理解できること。

【授業計画】

十.器

- 1. ガイダンス、課題説明
- 2. シャモット作り① 原土調整と乾燥
- 3. シャモット作り② シャモットの焼成
- 4. シャモット作り③ シャモット原土粉砕 フルイかけ
- 5. 杯土作り(足練り)
- 6. 作品エスキース
- 7. 作品エスキースの個別指導
- 8. 作品制作解説 (ビデオ鑑賞 ※予定)
- 9. 制作実践① 基礎
- 10. 制作実践② 応用
- 11. 作品完成 乾燥
- 12. 焼成準備 (窯作り、薪整備)
- 13. 焼成 (露天焼成、おおよそ800℃を目標)
- 14. 窯出し 清掃
- 15. 講評会
- ※悪天候によるスケジュールの変更等あり。

【成果物】

· 土器作品 2 点以上

【評価の方法・基準】

□方法:提出作品(60%)、平常点(20%)講評会での発言(20%)の比率で採点する。

□基準:到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

【教科書·参考文献(資料)等】

陶芸分野収蔵資料パナリ焼(土器) 沖縄美術全集『陶芸』沖縄タイムス社

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
25209	工芸Ⅱ	5単位 前期	2	実技	當眞 茂 渡名喜はるみ 島袋 克史 花城 美弥子 非常勤講師

■テーマ 工芸技法や素材について学び、作品制作を行う。

■授業概要

漆芸基礎②では、自然を発想のもとにして「美しい形」をテーマとした、乾漆技法による立体造形作品の制作を行う。 染基礎②では、型染め技法の白地型を理解し、日常生活で使う道具を主題にして一枚の型紙で模様を構成する。 陶芸基礎②では、タタラ成形中心に制作を行い、そのプロセスを習得し、陶土や釉薬の素材的性質を理解する。 織基礎②では、綴れの基礎となる直線、斜線、曲線の織り方を習得し、自由に意匠設計したタピストリーを制作する。

■到達目標

- ・工芸の様々な表現や素材に触れ、その特徴を理解し、工芸表現における造形力を身につける。
- それぞれの技法や工程を理解し、個性豊かな工芸作品を制作する。
- ・工芸の伝統と文化についての理解を深め、社会における工芸の有用性について思考できる。

■授業計画・方法

- 1. 「漆芸基礎」課題説明、乾漆技法について、デザイン検討、モデルでの検討
- 2. 原型制作、麻布貼り1枚目、布貼り2枚目、布貼り3枚目、布貼り4枚目
- 3. 下地付け、脱乾、細部成形、錆地模様付け、水研ぎ、下地固め
- 4. 下塗り、中塗り、上塗仕上げ、講評会
- 5. 「染基礎」課題説明、型染めについて、スケッチ
- 6. スケッチ、草稿、色草稿トレース、型彫り、染色
- 7. 蒸し、水元、パネル張り仕上げ、講評会
- 8. 「陶芸基礎」課題説明、デモンストレーション、アイデアスケッチ
- 9. 制作開始、作品乾燥
- 10. 素焼き窯詰め、素焼き、施釉、本焼き窯詰め
- 11. 本焼き焼成、窯出し、陶磁器についての講義、講評会
- 12. 「織 基 礎」課題説明、基本織り意匠設計
- 13. 基本織り用緯糸精錬、染色、経糸準備、織りつけ
- 14. 基本織り、課題作品意匠設計、緯糸準備、課題作品整織、仕上げ、講評会
- 15. 工芸素材研究 定期試験は行わない

■履修上の留意点(授業以外の学習方法を含む)

- ・各実習の評細については該当するページを見ること。やむを得ず欠席する場合は必ず学科室に連絡すること。
- ・各実習の終了時に作品を提出し、自己評価を含め講評を行う。講評を無断で欠席した者は評価しない。

■成績評価の方法・基準

口方法 各課題の評価をもとに教員の合議により総合判定する

□基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

■教科書・参考文献(資料)等

□ 教科書 各課題内で、必要に応じて指示する

□ テキスト 各課題内で、必要に応じて指示する

□ 参考文献 各課題内で、関係資料の配付、DVD 鑑賞等を行う

【実習名】漆芸基礎②(乾漆)

【期 間】4月9日(火)~4月24日(水)

【教 室】首里崎山キャンパス工芸棟 基礎実技室

【担当】當眞茂、新垣奈央(非)

【課 題】乾漆作品の制作

【授業概要】(テーマ) 乾漆技法による立体造形作品の制作

自然を発想のもとにして「美しい形」をテーマとした立体造形作品を制作する。展示方法やテクスチャーも考える こと。造形したレリーフ状とする。

【到達目標】

- ・乾漆技法による立体造形作品制作をとおして漆素材の特徴を理解し各自の漆芸表現が的確にできる。
- ・立体造形作品制作をとおし漆素材の特徴である「塗料であり、接着剤である」ことを体験し理解できる。
- ・漆芸技法で平面・立体作品制作を体験し漆芸全般の特徴を理解する中で各自の適性を探ることができる。

【授業計画】

- 1. 課題説明、乾漆技法についてのレクチャー
- 2. デザイン検討、モデルでの検討、デザイン決定
- 3. 原型制作
- 4. 麻布貼り1枚目、空研ぎ、麻布貼り2枚目
- 5. 空研ぎ、麻布貼り3枚目、空研ぎ
- 6. 布目擦り、空研ぎ、下地付け1回目
- 7. 空研ぎ、下地付け2回目、細部成形
- 8. 空研ぎ、下地付け3回目、細部成形
- 9. 生漆で下地固め、脱乾
- 10. 細部成形
- 11. 錆地模様付け (テクスチャー)
- 12. 下塗り (黒蠟色漆)、水研ぎ (耐水ペーパー#800)
- 13. 中塗り (黒蠟色漆)、水研ぎ (耐水ペーパー#800)
- 14. 上塗り、水研ぎ(耐水ペーパー#1500)、胴摺り
- 15. 胴摺り、摺漆、磨き仕上げ、講評会

【成果物】

■乾漆作品

【評価の方法・基準】

口方法 平常点 (授業への参加状況30%)、課題制作の提出 (70%)

□基準 乾漆技法による立体造形作品制作をとおして漆素材の特徴を理解することができたか。到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

【テキスト・参考文献(資料)等】

□参考文献 小松大秀/加藤寛『漆芸品の鑑賞基礎知識』至文堂 DVD 文化庁『髹漆-増村益城のわざ-』日経映像

□参考資料 作品・図録、道具等を紹介する。

【実習名】 染基礎②

【期 間】 4月25日(木)~5月20日(月)12日間

【教 室】 染工房ⅡA 共通染場

【担当】 渡名喜 はるみ 竹内まみ(非)

【課題】型染表現でカレンダーを制作。ファブリックパネルに仕上げる。

【授業概要】(テーマ)授業期間である5月を主題にカレンダーをデザインする。テーマの5月をイメージした図案と年号・曜日の文字、日付の数字をバランスよく配置する。型染めの特徴がより強く出せる白地型、白地仕上げを目標に模様のフォルムを考える。綿素材にシリアス染料で彩色。独自の色彩構成のパネルに仕上げる

【到達目標】

- ・型染めの基礎的な型彫、糊防染法の材料の基礎知識を学ぶ。
- ・5月をイメージした対象物をしっかりと観察、スケッチしたうえで、カレンダーとしての伝達力のあるデザイン構成。
- ・平面構成や文字・数字のレタリングの効果と模様のバランスの重要性を学び、型染での造形力を身につけ 染色作品全般への興味を深める。

【授業計画・方法】

- 1 課題説明、型染めの分類と基本技法のレクチャー
- 2 モチーフについてのディスカッション (5~6 人のグループに分かれる)
- 3 カレンダーとしての用途を考え文字・数字のバランス構成。
- 4 白地型としての構成確認 修正
- 5 白黒草稿
- 6 色草稿
- 7 型紙へのトレース、型彫
- 8 型糊の調合、糊置き、
- 9 地入れ液の調合、地入れ、乾燥
- 10 基本色作り・混色調合・試色
- 11 淡色染色
- 12 濃色染色
- 13 全体のトーン調整
- 14 蒸し/水元。パネル仕上げ
- 15 パネル作品での講評会 定期試験は実施しない

【成果物】 A3 サイズパネル張り仕上げの作品

【評価の方法・基準】

□方法 提出作品 60%・平常点 30%・レポート 10%

□観点·基準

- ・型彫・糊防染の基本的知識を習得したか。
- 季節の特徴を捉え、積極的に独自の図案構成に取り組んだか。
- ・図案と文字・数字とのバランスを考え、色彩諧調が表現できたか。

【テキスト・参考文献(作品)等】

□教科書 特になし

ロテキスト 資料プリントを配布

□ 参考文献 鎌倉芳太郎資料集 第一巻~第二巻(沖縄県立大学附属研究所)

シリーズ『染織の文化』染めの事典 (朝日新聞社)

染色の挑戦・芹沢銈介 世界は模様で満ちている (別冊太陽 日本の心)

□参考資料 参考型染め作品 資料 DVD

【実習名】 陶芸基礎②

【期 間】 5月21日(火)~6月5日(水) 12日間

【教 室】 首里崎山キャンパス 工芸棟 1F 陶磁器制作室 焼成室

【担 当】 島袋 克史、杉山 早苗(非)

【課 題】 凹凸のある焼き物

【授業の概要】(テーマ) 陶磁器の基礎制作を通してその構造を知る!

【到達目標】

- ・陶磁器の制作技法の基礎を理解すること。
- ・タタラ成形中心に制作を行い、陶土や釉薬の素材的性質を理解すること。
- ・陶磁器が出来上るまでのプロセスを習得すること。

【授業計画】陶芸基礎②

- 1. 課題説明、アイディアスケッチ
- 2. 加飾に用いる道具の制作 (ローラー印棒など)、焼成 (800℃)
- 3. 制作デモンストレーション、
- 4. 模擬制作とフィードバック
- 5. 器物の基本的な制作方法基礎(作品制作)
- 6. 器物の基本的な制作方法応用(作品制作)
- 7. 器物以外の基本的な制作方法基礎(作品制作)
- 8. 器物以外の基本的な制作方法応用(作品制作)
- 9. 作品乾燥、窯詰準備
- 10. 素焼き窯詰、炙り焼成
- 11. 素焼き ※電気窯800℃焼成
- 12. 釉薬掛けの説明、作品への施釉
- 13. 窯詰め、 本焼き 1250℃ 酸化焼成
- 14. 陶磁器講義、工房片付け
- 15. 窯出し 講評
- *日程変更の可能性あり

【成果物】

• 陶器作品 3 点以上

【評価の方法・基準】

□方法:提出作品(60%)、平常点(20%)講評会での発言(20%)の比率で採点する。

口基準: 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

【教科書・参考文献(資料)等】

参考資料 陶芸分野収蔵資料

参考文献 『陶芸を学ぶ』京都造形芸術大学編 角川書店

【実習名】織基礎② 綴織

【期 間】6月6日(木)~6月21日(金)

【教室】織工房2、共通染場、染織講義室

【担 当】花城美弥子、大濱 真子(非)

【課 題】 綴織技法を使いタペストリー制作を行う。

【授業概要】 (テーマ)

綴織基礎:各自で染めた色糸と白いウールを使い、綴れの基礎となる直線、斜線、曲線の織り方を習得する。

又、応用技法のルーピング技法やノッティング技法も習得する。

タペストリー:自由に意匠設計し、タペストリーを制作する。

【到達目標】

- 平織組織の緯糸効果による「綴織」の意匠設計と技法を学ぶ。
- ・下絵に応じて異なる色糸を部分的に入れて模様を織り出し、綴れ織特有の自由な織表現でタペストリーを制作する。
- ・経糸用の麻糸操作や緯糸用の羊毛染色実践を通して、繊維素材の特質を学ぶ。

【授業計画・方法】

- 1 課題説明
- 2 経糸準備 (整経)
- 3 仮荿通し 経巻き
- 4 綜絖通し
- 5 荿通し
- 6 織付け
- 7 織出し
- 8 緯糸準備(染色)
- 9 緯糸準備(糸繰り)
- 10 基礎織 (平織・直線)
- 11 基礎織 (斜線・曲線)
- 12 基礎織 (ルーピング・ノッティング)
- 13 タペストリー・デザイン
- 14 タペストリー制作
- 15 仕上げ

講評、作品・レポート提出

【成果物】

- 基礎織、作品、レポート

【評価の方法・基準】

口方法

平常点20% 作品60% レポート20%

□基準

ウールの染色方法を理解し、安全面に気をつけて効率よく作業を行えたか。 綴織技法の基礎織、応用技法を理解し制作できたか。

レポートでは、工程や技法についてのまとめ、考察について述べられているかを総合的に判断する。

【テキスト・参考文献(資料)等】

- □参考資料 参考作品
- □ 参考文献 龍村平蔵の世界 発行 龍村美術織物研究所 株式会社龍村織物

【実習名】 工芸素材研究

【期 間】 7月23日(火)~7月31日(水)

【教室】 各分野教室

【担 当】 工芸教員

【課 題】 工芸表現における素材研究および道具の製作や整備

【授業概要】 (テーマ)

分野決定後、専門分野の素材について基礎知識を習得し、制作に必要な道具の仕立てや使用法、整備について学ぶ。また、工芸制作におけるプロセスを理解し、制作のリズムを体得する。

【到達目標】

- ・工芸表現と素材、材料について基礎知識を学び、その特性を知ることができる。
- ・制作における道具の仕立て方や使用法について学び、自ら道具を仕立て使い整備することができる。
- ・工芸制作のプロセスを理解し、予定や計画を立てることができる。

【授業計画・方法】

- 1 課題説明、専門分野の特徴
- 2 素材の分類
- 3 素材の特徴
- 4 技法の分類
- 5 技法の特徴
- 6 道具の分類
- 7 道具の特徴
- 8 道具の仕立て、使用法、整備①
- 9 道具の仕立て、使用法、整備②
- 10 道具の仕立て、使用法、整備③
- 11 工芸のプロセスや計画
- 12 課題制作①
- 13 課題制作②
- 14 課題制作③
- 15 まとめ定期試験は行わない

【成果物】

・仕立てた道具等

【評価の方法・基準】

口方法

□基準

到達目標を観点とするが、優良可不可の評価は行わない。

【テキスト・参考文献(資料)等】

□教科書 特になし

ロテキスト 資料プリントを配布

 科目コード
 授業科目名
 単位数・学期
 受講年次
 授業区分
 担当教員名

 25216
 立体造形(工)
 1単位・前期
 2
 実技
 山田
 聡

※平成30年度以降の入学生(工芸専攻)対象科目

■テーマ

・グループワークによる立体作品制作

■授業の概要

・1班4~6名でグループを構成し、各班で作品のテーマを設定し内容を議論。プレゼンテーションを重ねグループ制作の候補作品を決定し、実制作を行う。その際、作品素材の如何は問わない。

■到達目標

- ・工芸専攻学生が専門分野に関わらず、立体的作品の計画、制作が行えること。
- ・学生がお互いの造形感覚を尊重し、テーマに沿ったグループ制作が行えること。
- ・客観的な視野を持ち作品制作について考察できること。

■授業計画・方法

- 1. 課題説明 グループ分け
- 2. テーマ設定
- 3. エスキース
- 4. グループディスカッション:候補作品を決める
- 5. グループディスカッション: 作品の仕様
- 6. グループディスカッション:素材、その他
- 7. 素材調達
- 8. グループディスカッション:制作方法
- 9. 作品制作開始
- 10. グループディスカッション:制作前半
- 11. 制作
- 12. グループディスカッション:制作の経過
- 13. 制作
- 14. 作品最終仕上げ
- 15. 全体ディスカッション 総括 定期試験は実施しない。

■履修上の留意点(授業以外の学習方法を含む)

- ・ディスカッションを重ねて制作すること。
- ・素材などは、学生が計画し調達すること。

■成績評価の方法・基準

- 口方法 作品 60% 平常点 40% (グループでの発言など) を総合的に判断し、採点する。
- □基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

■教科書・参考文献(資料)等

口教科書 特になし

ロテキスト 特になし

口参考文献 目比野克彦著「目比野克彦作品集」小学館

■学生準備

作業服、画材道具、制作に関わる道具など。

 科目コード
 授業科目名
 単位数・学期
 受講年次
 授業区分
 担当教員名

 25262
 版画
 1 単位 前期
 2 実技
 名護 朝和

※平成30年度以降の入学生(工芸専攻)対象科目

■テーマ シルクスクリーンによる版表現

■授業の概要

版画は版を媒介として表現する絵画であるが、直接描く日本画や油絵などと異なり、版をつくり、紙などに転写する間接的な表現である。版画は制約が多いが工芸と同じで、その制約が独自の表現効果をもたらしている。実習では、染色の型染と同じ方法であるシルクスクリーン技法を用いて、各自の制作テーマによる孔版表現技法を生かした作品の制作を行う。また、孔版の歴史や特徴を理解し、作品制作を通して写真製版法の技法・技術を習得する。

■到達日標

- ・版画の形式と種類を理解し、その特徴や表現の違いなどについて認識を深める。
- ・孔版表現の特徴を理解し、写真製版法の技法を習得できる。
- ・孔版表現技法を生かした、各自のテーマによる作品制作ができる。

■授業計画·方法

- 1. 版画の形式と種類 スライドレクチュアー (参考作品等)
- 2. 図案の作成(発想・アイデア)
- 3. 図案の作成(模様をつくる)
- 4. 図案の作成 (原寸大草稿)
- 5. 版下作成の説明(透明フィルム、カッティングフィルム、コピー等)
- 6. 版下作成作業(前期)
- 7. 版下作成作業(後期)
- 8. 製版の説明(写真製版、直接感光法) 製版作業(感光乳剤)
- 9. 製版の完成 版の修正
- 10. プリント作業の準備(布貼り、色糊準備等)
- 11. プリントデモ (ベタ塗り、グラデーション等) プリント作業 (1 色目の捺染)
- 12. プリント作業 (2色目の捺染)
- 13. プリント作業 (3色目の捺染)
- 14. 固着法の説明(熱処理等) パネル貼り
- 15. 清掃 合評会 定期試験は行わない

■**履修上の留意点**(授業以外の学習方法を含む)

- ・事前に各自のテーマに沿ったスケッチを用意する。
- ・版画に関する作品や書籍等を見て表現のイメージを構築する。

■成績評価の方法・基準

口方法 平常点(40%)、作品(60%)。平常点は授業への参加状況等により総合的に評価する。

□基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

■教科書・参考文献(資料)等

口教科書 特になし

ロテキスト 必要に応じて指示する

口参考文献 授業内で適宜指示、紹介する

25391	古美術研究	4 単位 後其	3	演習	名護 朝和 花城美弥子	水上 修 島袋 克史	
-------	-------	---------	---	----	----------------	---------------	--

■テーマ 古美術を研究し、教養を深める。

■授業概要

各自の研究を基に、学外に於いて主に日本の古美術に触れ、又博物館や美術館の収蔵品を見学し視野を広める。

■到達目標

- ・日本の主要とされている神社、仏閣及び古美術品を中心に鑑賞することで日本の芸術・文化 を理解する。
- ・研究レポートにおいて事前に学習し資料を作成することで、研究内容をより論理的に記述できるようにする。

■授業計画·方法

- 1. 日本の古美術について
- 2. 沖縄の古美術について
- 3. 奈良国立博物館、興福寺
- 4. 東大寺(南大門、大仏殿、蓮弁登壇拝観、俊乗堂、法華堂、開山堂、二月堂、戒壇堂)
- 5. 法隆寺、薬師寺、唐招提寺、西大寺
- 6. 三十三間堂、京都国立博物館、清水寺
- 7. 京都市美術館、南祥寺、銀閣寺
- 8. 仁和寺、龍安寺、金閣寺
- 9. 京都文化博物館
- 10. 桂離宮、二条城
- 11. 伏見稲荷大社、平等院鳳凰堂
- 12. 延曆寺(国宝殿、根本中堂、文殊楼、釈迦堂)
- 13. 大谷崎山荘美術館
- 14. MIHO ミュージアム、東洋陶磁美術館
- 15. 国立民族学博物館、大阪日本民芸館、 定期試験は行わない

■履修上の留意点(授業以外の学習方法を含む)

- ・体調管理を怠らないで、全日程を参加すること。
- ・レポートは A4 サイズ提出。
- ・レポートのテーマは特に設けないが、古美術に関連する内容で記述すること。
- ・ 事前授業 (日本の古美術、沖縄の古美術について) を受講すること。

■成績評価の方法・基準

- 口方法 レポート・事前作成資料 40%、平常点・研究姿勢 60%で総合的に評価する。
- □基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

■教科書・参考文献(資料)等

- □教科書 特になし
- ロテキスト 資料プリントを配布する
- □ 参考文献 毛利和夫編『文化財の見方』山川出版者